

や寮を建設されるのではなく、民間物件の借り上げを予定されていると伺っておりますので、その物件を市内で確保できるように協力してまいりたいと考えています。加えて三洋電機の佐野社長からも、若い技術者を確保しておくために、住宅だけでなく、病院や学校といった総合的な住環境のレベルアップが求められております。できる限りのことを想定しながら、市を挙げて取り組んでまいりたいと考えております。

随意契約の減少に関する取り組みについて

問 土本昌幸 議員（公明党）
随意契約の減少に関する取り組みについて、特にな業務以外は透明性の確保と経費節減のためにより一層推進する必要があると考えるが、計画はあるのか。
また、公共施設の清掃や樹木の管理などは、この厳しい財政状況では職員でできることはすべてやるという決意が必要。その考えは。

答

委託業務における随意契約の割合は、件数で約60%という状況です。随意契約の中で特に多いのは、シルバー人材センターやコンピュータのシステム保守、更新、変更等の業務です。現在昨年度実施した委託業務で随意契約をした案件の業務内容を精査しており、競争入札にできる業務については今後できる限り入札等により決定してまいりたいと考えています。

公共施設の清掃については、現在シルバー人材センターに委託している業務のうち、現業職員でできる業務内容の洗い出しを行っています。公共施設周辺の草刈り作業、剪定、トイレ清掃については、作業日程、作業量を調整しながら、現業職員により実施することにより、経費の削減を図りたいと考えています。職員でできることは職員で実施するとの考えで検討していきたいと考えています。



活力あるまちづくりについて

問

丸岡弘満 議員（東風会）
3月議会において、宇仁郷まちづくり協議会の先進的な取り組みについて大変評価をしていたのだが、加西市内にはまだまだ地域活性化のために創意工夫をしながらすばらしい取り組みをし、頑張っている各種団体、地域もあり、その活躍や努力を評価する上で、ある一定の基準を設けて行政の金銭面での助成、支援はできないか。

答

頑張っている地域への助成金制度については、厳しい財政状況であり、実施には至っていませんが、将来に向けて加西市が発展していくためには元氣な地域の維持、発展が必要不可欠です。そのためにも、それぞれの地域の特色や資源などを最大限に活かした地域協働により、まちづくりを積極的に進めていかなければいけないと思っていますので、前向きに検討をしていきたいと考えています。



加西病院の全通について

問

森元清蔵 議員（公明党）
病院のあり方検討委員会の答申で、「平成20年度中の可能な限り早い時期に地方公営企業法の全部適用を速やかに採用して、人事や予算の権限を事業管理者（病院長）に与え、経営の効率化を図ること」と言われている。また、平成20年度に立てられた病院改革プランでも平成21年に全部適用に移行すると言われている。しかし、市民への全通の周知や改革プラン

の進捗管理等の理由により本庁からゴーサインが出ず、20年度という方針が今は21年9月と言われている。1日でも早く全通にして頑張りたいという、病院側の意向を尊重することが第一ではないかと思うが、9月に議案を上げてくる確約はできるのか。



答

問題を先送りして加西病院の経営環境を悪化させようという思いはありません。全通になっても市民が加西病院で受ける医療サービスの内容は変わりません。しかし、市民が将来背負う負担を、いままでは